

関西朝陽会

日時 平成五年十一月十二日(金)  
会場 大阪天満O.M.Mビル「東天紅」

出席者 (敬称略)

田中 義人(中9回) 畔上 秋男(中9回)  
畑 俊八(中10回) 泉谷 繁喜(中13回)  
小林 秀明(中13回) 丹田 信重(中15回)  
中川 博司(中16回) 中西憲一郎(中16回)

支部だより

鈴木 達也(中17回) 吉田 謙一(中17回)  
景山 喬二(中17回) 森川 幸昭(中18回)  
蔵掛 春忠(中19回) 後藤 幸男(新1回)  
竹安 和雄(新1回) 城戸 正名(新2回)  
小崎 勇二(新2回) 上月 守雄(新3回)  
竹中 瑛一(新4回) 上田 友之(新5回)  
青柳 司(新6回) 松本 徹(新8回)  
奥 彬(新9回) 仁田原征二(新9回)

市川 一男(新10回) 片江 宏巳(新10回)  
谷川 和夫(新11回) 牧 逸生(新11回)  
浅井 彰(新12回) 羽島 継男(新12回)  
落合 憲光(新13回) 西本 宏史(新13回)  
嵯峨 康生(新15回) 武田 龍馬(新15回)  
堀内 美甫(新15回) 鈴木 敦子(新16回)  
小林 祥二(新18回) 中島 守純(新19回)  
荻原 哲(新19回) 浜名 正二(新24回)

岩本 廣美(新25回) 佐々木和美(新29回)  
仙石裕二郎(新32回) 池野 智彦(新33回)  
渡辺 信久(新34回) 以上四十五名  
当日はあいにく雨模様で会員の出席が心配されましたが、出席予定者四十五名全員がほぼ定刻までに参集されました。これだけの参加者は、私が当会をお世話するようになってから最大の人数です。翌日より海外出張予定の田中義人先輩(中9回)や、また遠方からは三重県名張市の中西健一郎先輩(中16回)、兵庫県の西の外れの明石市から上田友之氏(新5回)など、雨をいとわずお出掛け下さった皆様に厚く御礼申し上げます。



出席者の内訳は旧制十三名、新制三十二名となり、圧倒的に新制の方が多くなりました。席は中華料理の丸テーブル五台に九名ずつ、卒業年次の近い方をまとめるように座っていただきましたが、旧制の方だけのテーブルからは「若い人と話したい」という希望が出ました。次回からはそういう席の配置にしようかと考えております。  
会はず私から母校同窓会の近況を御報告し、最長老の田中義人先輩の御発声で乾

杯して宴会に入りました。ひと通り料理やお酒が入ったところで、本日の圧巻であります「六中魂」を上映いたしました。この会場にはビデオ用のプロジェクターと、映画館なみのスクリーンが用意されていて、モノカラーでサイレントとは言え鮮明な画面で、昭和八年五月十五日に当時の六中生が東郷元帥邸を全員で訪問し、玄関前で紋付羽織袴姿の同元帥から御訓示を受ける様子を、ありありと拝見することができました。旧制中学のテーブルからは「声が入ってればよいのになあ」という嘆声が聞こえました。当時この生徒達の中にいたはずの畑俊八先輩(中10回)によると、元帥邸のあった音羽まで校長・職員・生徒とも全員新宿から歩いて行ったとのこと。六中だったら当り前のことでしょう。御要望が強かったので、希望者にはコピーして後日配布することに致しました。

の詳しい説明がありました。また堀内美甫さん(新15回)は「新宿高校音楽の夕べ、よくやった、池辺クン! 彼は私と同期です」と、声を大にして遥かに池辺クンを激励されました。  
九時を十五分ほど回ったところで、恒例の校歌を斉唱となりました。旧制中学の一同でまず旧六中の校歌を斉唱し、次は全員で「健児の歌」の斉唱、次に新制の方々による新校歌の斉唱、堂々と歌い終わりました。これだけ立派に歌えることは、リードされた六声会の後藤幸男さん(新1回)や上田さんのお力に負うところが多いと思えますが、やはり母校の地を遠く離れて暮らしている者は母校についての思い出や憧憬が強く、それだけしっかり校歌も覚えていて、ということではないでしょうか。

ビデオのあとは、各テーブルから幹事を含めて十数名の方が思い思いに立って、自己紹介やら近況やら、在学時代の思い出など楽しく語っていただきました。六声会上田さんからは、旧制中学校歌祭について

このあと畑先輩の音頭で万歳を三唱して解散しましたが、御参加の皆さんには大層喜んでいただき、幹事一同やり甲斐があったと思います。手落ちはいろいろとありましたが、次回にはさらに多くの方が参加されることを望んでおります。(景山喬二記)

杯して宴会に入りました。ひと通り料理やお酒が入ったところで、本日の圧巻であります「六中魂」を上映いたしました。この会場にはビデオ用のプロジェクターと、映画館なみのスクリーンが用意されていて、モノカラーでサイレントとは言え鮮明な画面で、昭和八年五月十五日に当時の六中生が東郷元帥邸を全員で訪問し、玄関前で紋付羽織袴姿の同元帥から御訓示を受ける様子を、ありありと拝見することができました。旧制中学のテーブルからは「声が入ってればよいのになあ」という嘆声が聞こえました。当時この生徒達の中にいたはずの畑俊八先輩(中10回)によると、元帥邸のあった音羽まで校長・職員・生徒とも全員新宿から歩いて行ったとのこと。六中だったら当り前のことでしょう。御要望が強かったので、希望者にはコピーして後日配布することに致しました。

このあと畑先輩の音頭で万歳を三唱して解散しましたが、御参加の皆さんには大層喜んでいただき、幹事一同やり甲斐があったと思います。手落ちはいろいろとありましたが、次回にはさらに多くの方が参加されることを望んでおります。(景山喬二記)